

12月定例会

固定資産税第1期・軽自動車税の納期を変更 事務効率と納税円滑化を図る

平成24年度12月定例議会が12月18日から21日までの4日間にわたり開催され、藤里町公告式条例の一部改正や一般会計補正予算など上程された13案件について原案どおり可決されました。

一を図ることから協定を締結しました。なお、一部事務組合の設立については、議会の議決を必要としていますので、本定例会に議案を提出しています。

◇町民会議の要望事項について

町民会議については、町民の代表である議会の皆様の活動の一環として行われてきましたが、町としては町政座談会に代わる町民の意見や要望を町政に反映できる大切な会議であると認識しています。10月19日付けで議長長宛に回答書を提出させていただきました。

郵便ポストの設置や除雪体制については、除雪車の出勤基準をより路面の現状に合わせたものにすることやパトロールの体制を強化するなど、できることについては、今後、十分検討を加え対応したいと考えています。

◇秋田県町村電算システム共同化

電算の共同化については、9月定例議会にも報告をしています。11月28日に12町村長の参加のもと、基本方針の確認と一部事務組合の設置など共同の意思統

◇防災活動車の交付について

このたび、生活協同組合全日本消防人共済会の共済事業に伴う還元事業として、防災活動車1台が交付されることが決まりました。交付される車両は、軽自動車のワンボックス型で、2月頃に交付となる予定で、消防団本部用として防災活動や災害救助等の地域の安全・安心を守るため、有効に活用したいと考えています。

◇平成24年の農業関係の事業実績等について

能代市を主会場に開催されました「第135回秋田県種苗交換会」において、本町の農家が農林水産大臣賞をはじめとし、秋田県知事賞など、1等賞4点、3等賞5点が受賞されました事を報告します。受賞されました方々には、心からお祝いを申し上げますとともに深く敬意を表するものです。

◇平成24年産米の集荷状況について

JAあきた白神藤里営農センターの11月末現在における集荷実績によると、予

約数量80,054個に対し、集荷数量は77,725個(集荷率97.1%)、1等米比率が94.6%となっています。雪解けが遅かったほか9月の気温が高かったことから、登熟が進まず、品質の低下などが心配されましたが、1等米比率は昨年を上回り、収量は平年並みとなりました。

生産調整の実施状況は、「農業者戸別所得補償交付金」の岩盤部分、66,628,500円、転作部分、39,917,500円、併せて106,546,000円の農家への支払いを11月28日に終えています。

◇平成25年産米の需要量について

11月29日に国から都道府県別の生産目標数量が公表されました。国の25年産米の生産目標数量は、今年より2万t少ない、791万tとなりましたが、作付面積は、昨年と同じく150万haとなっています。秋田県に配分された生産目標数量は、昨年より2,790t多い、446,430tとなりました。県への配分は、昨年を上回ることになりましたが、平成22年度からの較差縮小に係る取り決めに、町への生産目標数量は、昨年より1haほど減になると思われます。各市町村への配分は、12月27日に示されることになっていますので、藤里町農業再生協議会で配分方針を協議し、総会において決定することになります。

◇畑作の生産状況について

ネギは昨年の4.1haの作付により、

行政報告

